

2015年大河ドラマ「花燃ゆ」主人公・文の夫

楫取素彦伝

耕堂 楫取男爵伝記

販売中

大河ドラマ「花燃ゆ」のヒロイン文の夫で、初代群馬県令（現在の県知事）として産業や教育の振興に功績を残した、楫取素彦かとりもとひこの初の本格的伝記を、萩市と前橋市が共同で出版しました。

この伝記は、村田清風の孫で歴史学者の村田峰次郎（1857～1945）が、昭和初期に執筆していた草稿「耕堂楫取男爵伝記」を元に、出版に当たって漢文中心の文章に、読み仮名や句読点を挿入し読みやすくするとともに、解説を加えたものです。

草稿は、平成24年に萩博物館で開催した特別展「楫取素彦と幕末・明治の群像」の資料調査の際に、東京の楫取家を訪れた萩博物館の職員が発見したものです。

原本が失われた資料が多数引用され、楫取素彦に直に接した人からの逸話など、知られざるエピソードも盛り込まれており、貴重な歴史資料となっています。



楫取素彦像

- サイズ／四六判、395ページ
- 価格／1800円（税込）
- 販売所／萩博物館、萩図書館、萩市役所企画政策課
- 問い合わせ／萩博物館（TEL 0838・25・6447）
- 発行者／山口県萩市、群馬県前橋市